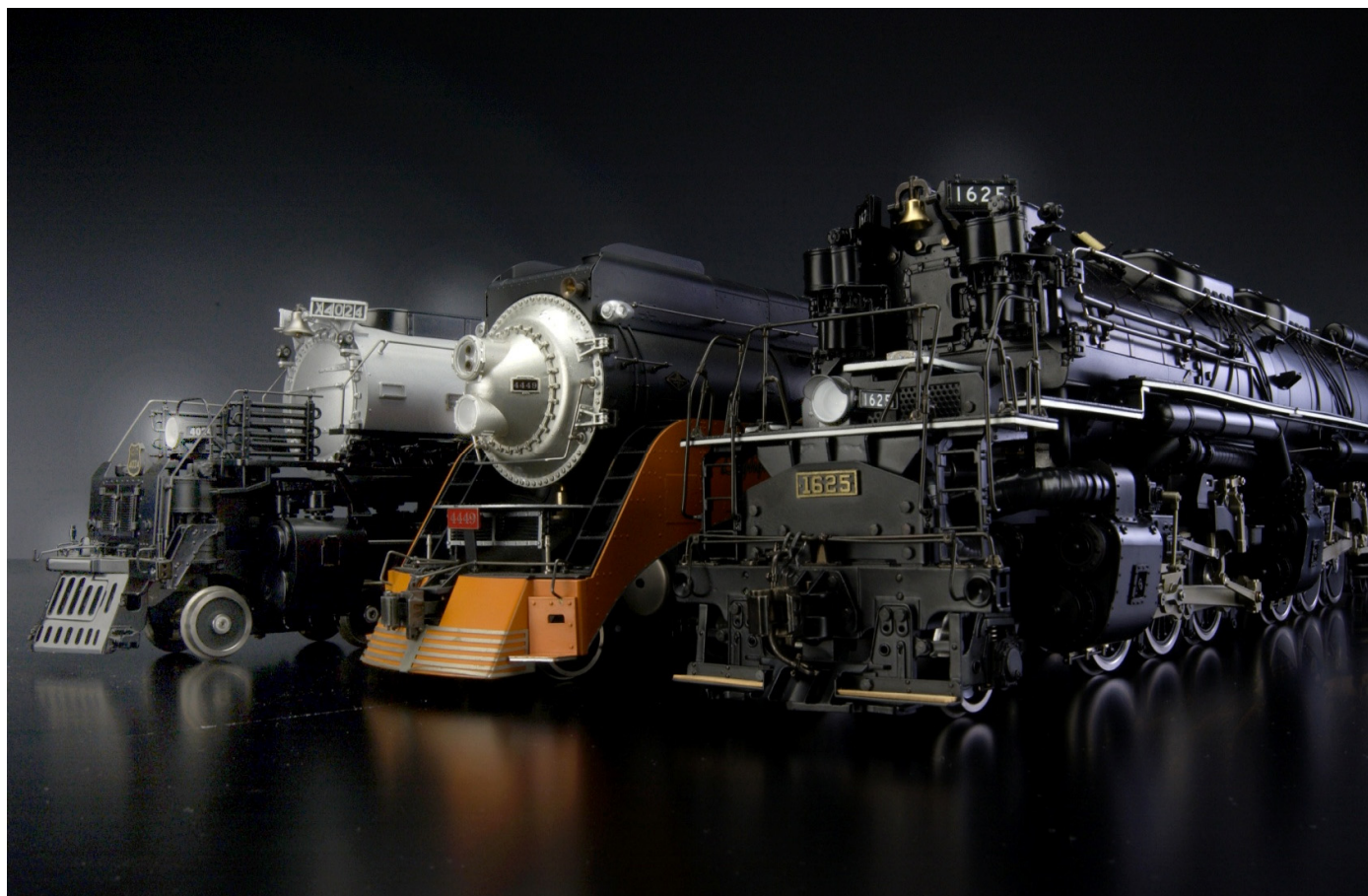


ロースターとカレンダープログラムです。

全面見直し作業を進めております。ロースター(歴史)とカレンダープログラムですが、便利になった。とはいえ、基本カレンダーは Google の提供プログラムをそのまま利用しているので、中国工場で見ることが可能か？がまだ未検証です。

(両方とも、まだ完全版では在りません)

唯、外国のお客様の皆さん(日本の顧客様は大体従ってくださっています)今後ロースターを見て御自身のコレクションの歴史は確認ください。そして製造後 10 年を経たモデルの補修部品をご用命の場合、補修部品代の他に手数料を頂きます(又、製品や箇所によって補修部品が 10 年を持たず枯渇する場合もございます、基本補修部品は、総生産数の10%を基準に確保しています)又、引っ越しに際し 70 年代と 80 年代前半の製品の補修部品のかなりをジャンク部品として提供しています。基本弊社は、部品だけの販売やスクラッチビルダー向けの、部品販売はしていません。新車を買おうと、中古オーナーだろうと、その辺の区別は、しませんが、補修部品はモデルオーナーの為の物で、たまに部品交換(オーナーは、ダメと思っても、プロなら直せる場合もあります)を依頼する場合もございます。今、スタッフの高齢化と少数化で修理の依頼は原則受けられません。ご理解ください。日本のお客様は皆様ご理解の上協力的なのですが、海外のお客様の場合面倒ですし煩雑な手続きが必要な場合もございますので、部品の交換販売依頼をオミットしている場合もございます、唯、上記事情をご理解の上、ご協力頂ければと存じます。そのためのロースターやカレンダーでもありますので、この辺に関しては完ぺきを期していますので、完成まで今しばらくご猶予をください。



テキストメールと HTML メール。

このこの処、ジャンクメールがめっきり減りましたが、こいつらの発生の根本は、洋の東西を問わず弊社のメイン顧客であるお爺ちゃん方が、メールをそのまま送ってきて返信するからなのです。特に携帯や PDA からの場合、いちいち安全性のチェックをしてテキスト変換し返信するなんて面倒な手間は採らないモノです(それだけ世のお爺ちゃん達はセッカチなのです)ただこんな事、皆さんが若い時、可なり口を酸っぱくして上から言われていたことなんです!

MAGA もとうとう。

本当に『あれだけナチに苦しめられた』という過去を錦の御旗に翳した、ユダヤ人の、極一部の傍若無人な連中と、ワシントンの極一部や全く論理的ではない、宗教原理主義者の方の傍若無人振りの相乗効果で、世界が振り回されている感が、拭えません。杉浦千畝の気概は、どこへ消えたのでしょうか…ねえ外務官僚さん？

日本でもポピュリストで、この傍若無人な方々にへいこらす女が。何故か？首相の座や政権についています。サイレントマジョリティーと言う言葉や、歌がありました。多数が、声を上げれば、とは思いますが、多くの人は未だこの傍若無人な環境に耐えられるだけの体力があるのでしょうか。でもわずか10%の意見が総数になるのは、やはりおかしいです。よね？皆さん？

改めて。

ホームページの中で、意外と復活を望まれることが大きかったのが、今は無き、アドビフラッシュで作られていた、『トイトレインの歴史』でした。がいよいよ出来ました。ただ昔と異なり写真やイラストの掲載は控え基本文書だけにしました。要は、著作権（コピーライト）に煩わされることを避けるためです。ご理解下さい。ただ内容的には、正確です。



Company
Company Profile

Products
Product Introduction

History
Railway History

Live model
Let's enjoy live modeling!

ASTER's Roster
History

EN ▾



The History of Toy Trains and LiveSteam

Carefully assembling the parts, the process of building a LiveSteam model train is a journey back to forgotten excitement, much like the infinite universe we felt as children in our small model kits. Each tiny part breathes with the dreams of those who came before us, and is imbued with countless stories of railway model trains. It is an invaluable gift that a long history has left us.

The History of Toy Trains

It is unclear when and how what we now call toy trains originated. The first moving toy trains were "wind-up" toy trains. In the United States, it is said that the first was made in 1856 by George Brown & Co. in Forestville, Connecticut. Before that, inspired by a clockmaker in Nuremberg, Bavaria, Germany, several manufacturers made "wind-up" toy trains. These did not run on rails but on carpets, so they were called carpet toys.

In France, a model railway was made in 1859 for the son of Napoleon III. It was a 20cm gauge coal-fired live locomotive. It was the most expensive toy played with at court.

The success of the Rocket at the Rainhill Trials in 1829 led to the creation of real railway locomotives. Before that, the Stevenson brothers' Rocket and Trebesic's Catch Me Who Can were standard gauge, and Timothy Hackworth created a 10cm gauge live model for commercial use in 1826.

没になった写真集。

新ホームページ（ロoster）で採用されなかった過去モデルの高解像度写真を紹介します

